

平成24年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名		美術館・博物館活動の充実		担当局庁	文化庁		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度		平成9年度		担当課室	文化部芸術文化課 文化財部美術学芸課		芸術文化課長 舟橋 徹 美術学芸課長 江崎 典宏	
会計区分		一般会計		施策名	XⅢ-2 文化財の保存及び活用の充実			
根拠法令 (具体的な条項も記載)		文化財保護法 第53条		関係する計画、通知等	文化芸術の振興に関する基本的な方針(第3次基本方針) (平成23年2月8日閣議決定)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		美術館・博物館活動の学芸員等を対象に、博物館の管理運営や教育普及活動を支える専門人材の育成を目的とした研修を実施、支援することにより美術館・博物館が地域の文化振興の拠点としての役割を果たせるよう、その活動の充実を図る。また、文化庁の所蔵作品等を国や地方公共団体の庁舎、在外公館等の公共機関に貸し出し、作品の積極的な活用を図る。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)		<ul style="list-style-type: none"> ・美術館・博物館の関係者を対象に、その資質を向上させるための研修を実施する。 ・国民の文化に対する理解と関心を高めるため、美術館・博物館(公開承認施設)が主催し、重要文化財等が相当数出品される企画展の輸送費等を支援するとともに、公開活動を促進するための展示取扱等に関する研修を実施する。 ・国民が優れた美術品を鑑賞する機会を拡大するため、国宝や重要文化財、世界文化の見地から貴重な美術品を国が登録し、登録した美術品を美術館において公開する。 ・文化庁で所蔵している美術作品について、適正に保管するとともに、庁内情報ひろばでの展示、展示を希望する美術館等への貸出を行うなど、優れた美術作品が鑑賞できる機会を提供している。 						
実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)				21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
		予算の状況	当初予算	25	24	19	21	21
			補正予算	▲1	-	-	-	-
			繰越し等	-	-	-	-	-
		計		24	24	19	21	21
		執行額		24	20	15		
執行率(%)		99.0%	83.4%	76.0%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
		美術館・博物館の関係者を対象に、その資質を向上させるための研修を実施する事業や、重要文化財等を出品する施設の展覧会を財政的に支援する事業であり、数値での定量的な効果にはなじまない。		成果実績				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
		研修開催数/年			1	1	2	
		公開承認施設採択件数/年			25	16	19	
		登録美術品公開件数/年			15	25	25	
単位当たりコスト		算出根拠		単位あたりコスト: 予算額/年間研修開催数 単位あたりコスト: 予算額/年間公開承認施設採択件数 単位あたりコスト: 予算額/年間登録美術品公開件数 単位あたりコスト: 予算額/公開作品件数				
		1,112,000(円/研修開催数) 1,024,437(円/公開承認施設採択件数) 66,120(円/登録美術品公開件数) 355,866(円/公開作品件数)						
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	2百万円	2百万円					
	職員旅費	2百万円	2百万円					
	委員等旅費	4百万円	4百万円					
	庁費	13百万円	13百万円					
	計	21百万円	21百万円					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	本事業は、美術館・博物館が地域の文化振興の拠点としての役割を果たせるよう、活動の充実を図るものであり国民のニーズも高く優先度が高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	支出に当たっては、一般競争入札等の実施により、競争性を担保しつつ、コスト削減に努めている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	各事業ともに、それぞれの分野における支援等を実施し、国民が優れた美術品を鑑賞する機会を提供するものである。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	美術館・博物館活動の学芸員等を対象に、博物館の管理運営や教育普及活動を支える専門人材の育成を目的とした研修を実施、支援することにより美術館・博物館が地域の文化振興の拠点としての役割を果たせるよう、活動の充実を平成23年度も図ることができた。また、登録美術品による相続税の物納について本事業により手続を進め実績につなげたことで登録による効果を示し制度の意義を高めたほか、重要文化財等を出品する施設の展覧会(自主企画展)を財政的に支援する事業を引き続き行うことで、より国民が優れた美術品等を鑑賞する機会を拡大することができた。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>1. 事業評価の観点: 本事業は、主に美術館・博物館が主催する重要文化財が相当数出品される企画展に対し、輸送費等の支援を行うものや、文化庁が所蔵する美術品の保管経費等により構成されており、長期継続事業の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見: 本事業は平成23年度決算において不用額が生じていたが、平成24年度予算において既に見直しをおこなったところ。また、震災の影響により生じた不用についても実施時期の見直し等により計画的に実施される見込みであることから、平成24年度新規メニューの進捗状況等を注視しつつ効率的な事業の実施に努めるものとし、平成25年度概算要求においては現在の事業内容を引き続き維持すべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
文化芸術の振興に関する基本的な方針(第3次基本方針)(平成23年2月8日閣議決定) http://www.bunka.go.jp/bunka_gyousei/housin/kihon_housin_3ji.html			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0472	平成23年行政事業レビュー	0392

※平成23年度実績を記入

文化庁
15百万円

委員等旅費等 0.9百万円
職員旅費 2百万円
諸謝金 0.8百万円
庁費 2百万円 } を含む

重要文化財等
公開活動推進事業

美術館・博物館(公開承認施設)が主催し、重要文化財等が相当数出品される企画展の輸送品等を支援するとともに、公開活動を促進するための展示取扱等に関する研修を実施する。

【随意契約・請負】

A 民間会社
全19機関
7百万円

文化庁が公募し採択した公開承認施設の企画展において、美術作品を輸送する。

※庁費等執行分

美術作品出会うの広場

文化庁で所蔵している美術作品を、展示を希望する美術館等に貸出するとともに、庁内情報ひろばにて展示を行う

【一般競争・請負】

B 寺田倉庫(株)
1百万円

美術作品を保管する

※庁費等執行分

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:百万円)

※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない

費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者について 記載する。費目と使途の双方 で実情が分かるように記載)	A.日本通運株式会社 名古屋支店			C.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	役務	美術作品の輸送	0.4			
	計		0.4	計		0
	B.株式会社寺田倉庫			D.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	役務	美術作品の保管	1			
計		1	計		0	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本通運(株)名古屋支店	美術作品の荷造・運送作業	0.4	随意契約	—
2	日本通運(株)新潟支店	美術作品の荷造・運送作業	0.4	随意契約	—
3	ヤマトロジスティクス(株)大阪美術品センター	美術作品の荷造・運送作業	0.4	随意契約	—
4	ヤマトロジスティクス(株)大阪美術品センター	美術作品の荷造・運送作業	0.4	随意契約	—
5	日本通運(株)関西美術品支店	美術作品の荷造・運送作業	0.4	随意契約	—
6	日本通運(株)関西美術品支店	美術作品の荷造・運送作業	0.4	随意契約	—
7	日本通運(株)関西美術品支店	美術作品の荷造・運送作業	0.4	随意契約	—
8	日本通運(株)宇都宮支店	美術作品の荷造・運送作業	0.4	随意契約	—
9	日本通運(株)福岡支店	美術作品の荷造・運送作業	0.4	随意契約	—
10	日本通運(株)防府支店	美術作品の荷造・運送作業	0.4	随意契約	—

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社寺田倉庫	美術作品保管業務	1	1	62%